

共育の丘だより 第14号 2021春

教育・学生支援機構 教学マネジメント室 ニュースレター



共育の丘（山口大学 吉田キャンパス）

「山口大学は、教えるだけの教育ではなく、
教員と学生、あるいは地域と一体となって
発見し、はくくみ、かたちにすることで共に高め合い、
未来を拓く『共育』を目指しています」

『2014 山口大学案内』より

巻頭言

『共育の丘だより』は、2013年度に刊行されて以降、8年間も続き、今回で第14号を数えるまでになりました。当初は、旧・大学教育センターの諸活動を学内外に伝えること、さらには、学生スタッフによる編集を目指したことなど、当該組織の活動の見える化を目指し、私自身が企画提案し実現に漕ぎ着けたものでした。その精神は、2020年度の組織再編で創設された教学マネジメント室でも引き継がれ、今回が教学マネジメント室ニュースレターとしては、第2回目の刊行となります。

2020年度はコロナ禍の不自由さはありませんでしたが、その逆境を乗り越えて、教学マネジメント室の活動、さらには、学生スタッフの活動が従来以上に活発となり、想定以上の数々の成果を挙げた年度だったように思います。人間という生き物は不思議なもので、不自由さに遭遇した時ほど、秘めているポテンシャルを発揮するように思います。特に、学生スタッフによる他大学とのオンライン交流会や動画編集チームの頑張りには、勇気と元気をすごくいただいたように思います。ありがとうございました。

さて、近年の山口大学の教育改革のエンジンとなった「文部科学省・大学教育再生加速プログラム（AP）」「文部科学省・地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の事後評価では、共に最高の「S評価」を受ける快挙となりました。また、新たな教育改革に向けた「文部科学省・デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」では、取組①・②のダブル採択という嬉しいニュースも舞い込んできました。

2022年度から始める国立大学法人・第4期中期目標期間に向けて、山口大学の真価が、今まさに問われています。

（林 透 教学マネジメント室 副室長・准教授）

INDEX

- P1 巻頭言
- P2 教学マネジメント室の動き
- P3 教学マネジメント室の動き（続き）
- P4 共育ワークショップ2021
- P5 SLP「動画編集入門講座」
- P6 “学びのガイドブック”を刊行
- P7 やまぐち探訪記

【※ 本ニュースレターは、山口大学基金「学生の就職支援・教育環境の改善等助成事業」の支援を受け、編集・刊行しています。】

教学マネジメント室の動き

FD・SDとは？

はじめに

FDはFaculty Developmentの略称で、「教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組」を指します。SDはStaff Developmentの略称で、「事務職員や技術職員など職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組」を指します(中央教育審議会答申・用語集より)。

令和2年度全学FD・SD講演会が大盛況！

2021年3月3日(水)、山口大学 令和2年度全学FD・SD講演会『教学マネジメントについて考える～「大学全体」「学位プログラム」「授業科目」レベルに着目して～』を、学内外から164名の参加者を集め、Zoomによるオンライン聴講及び吉田キャンパス・共通教育棟2階会議室による会場聴講を併用したハイブリット型セミナーにて開催しました。オンライン聴講を可能としたため、北海道から沖縄にかけて全国各地の教職員が参加しました。

冒頭、松野 浩嗣 山口大学 理事・副学長(教育学生担当)・教学マネジメント室長より開会挨拶があり、教学マネジメントの重要性が謳われる中で、所属大学を超えた大学関係者の議論に期待が寄せられました。また、「山」が付く国立3大学が顔を揃え、有意義な交流を行いたい旨、発言がありました。

基調講演では、まず、山形大学 学術研究院 教授(教学マネジメント特別委員会委員) 浅野 茂 氏より、「山形大学における教学マネジメント ～教育ディレクター制度の深化とアセスメントへの挑戦～」と題して講演がありました。各学科・専攻に配置された教育ディレクターとの連携により、カリキュラム・マッピングを通じたカリキュラム・ポリシー(CP)及びディプロマ・ポリシー(DP)の妥当性を検証しながら、教育目標の可視化を図っている取組が紹介されました。特に、教育目標の妥当性を強調し、そのことを通して初めて、学修成果測定の正確さが担保されると述べられました。また、学修成果のアセスメントの事例として、大学独自に開発した基盤カテストの取組状況について説明がありました。

次に、山梨大学 大学院総合研究部 工学域 電気電子情報工学系 教授(教育国際化推進機構大学教育センター長・学長補佐) 埴 雅典 氏より、「山梨大学における教学マネジメント ～内部質保証の実質化と自己点検・改善の定常化～」と題して講演がありました。内部質保証システムの概要や実施体制について詳細な説明があり、大学独自に策定した教育環境及び教育内容の内部質保証基準に従って、2019年度に全学部、2020年度に全研究科を対象に「教育内容」の自己点検・評価を試行したことが紹介されました。特に、自己点検・評価の4段階判定の目安や記入上の注意など、非常に参考となる内容が沢山盛り込まれていました。

最後に、山口大学 理事・副学長(教育学生担当)・教学マネジメント室長 松野 浩嗣 氏より、「山口大学における教学マネジメント ～学部・研究科との関係性を重視したアクション～」と題して講演がありました。山口大学では、2020年1月公表の『教学マネジメント指針』に忠実な取組を行っており、同年4月に創設した「教学マネジメント室」の構成や各教学組織との関係性を中心に、内部質保証体制や教学IRの整備や今後の取組の方向性について紹介がありました。

後半では、林 透 教学マネジメント室 副室長の進行のもと、参加者からのチャットによる質問に講師が回答する形で全体共有を行いました。参加者アンケート結果から満足度の高いセミナーとなり、今後も同様のオンラインによるFD・SD講演会を望むコメントが寄せられ、更なる充実を図っていくこととしました。

山口大学 令和2年度 全学FD・SD講演会
教学マネジメントについて考える
～「大学全体」「学位プログラム」「授業科目」レベルに着目して～

趣 旨：2020年1月に公表された『教学マネジメント指針』（中央教育審議会大学分科会）で「大学全体」「学位プログラム」「授業科目」の三つのレベルに区分して、教学マネジメントのあり方や方向性を指し示しています。多様な学生の受け入れとともに、個々の学生の学修成果の把握や可視化、さらには、社会への情報公開が求められています。一方、認証評価などの第三者評価では、「学位プログラム」レベルの評価・検証の仕組みの確保が必要とされるなど、輻輳化する質保証に対応できる教学マネジメントの組織力が求められています。そこで、今年度の「全学FD・SD講演会」では、教学マネジメントのあり方をテーマに、「大学全体」「学位プログラム」「授業科目」の各レベルに着目した話題提供を行い、フリアとの意見交換を交えながら、学修者本位の大学教育について考えてみます。

日 時：2021年3月3日(水) 14:00～16:30
実施方法：オンライン聴講及び会場聴講(山口大学 メディア講義室(吉田キャンパス))
対 象：大学関係者ほか、どなたでも参加可能(参加費無料)
定 員：100名
構 成：
14:00～14:10 開会挨拶・趣旨説明
14:10～14:40【講演(1)】
「山形大学における教学マネジメント ～教育ディレクター制度の深化とアセスメントへの挑戦～」
山形大学 学術研究院 教授(教学マネジメント特別委員会委員) 浅野 茂
14:40～15:10【講演(2)】
「山梨大学における教学マネジメント ～内部質保証の実質化と自己点検・改善の定常化～」
山梨大学 大学院総合研究部 工学域 電気電子情報工学系 教授 埴 雅典
(教育国際化推進機構大学教育センター長・学長補佐)
15:10～15:40【講演(3)】
「山口大学における教学マネジメント ～学部・研究科との関係性を重視したアクション～」
山口大学 理事・副学長(教育学生担当)・教学マネジメント室長 松野 浩嗣
15:40～16:20【パネル・ディスカッション】
「教学マネジメントの本質とは何か？」
(進行：山口大学 教育・学生支援機構 教学マネジメント室 副室長 林 透)
16:20～16:30 クロージング



大学マネジメントセミナー2020 in やまぐちを開催！

2020年12月21日（月）に、大学リーグやまぐち・山口大学主催 大学マネジメントセミナー2020 inやまぐち『大学マネジメントのためのマインドセット』を、学内外から120名を超える参加者を集め、Zoomによるオンライン聴講及び吉田キャンパス・大学会館2階会議室による会場聴講を併用したハイブリット型セミナーにて開催した。オンライン聴講を可能としたため、東北から沖縄にかけて全国各地の教職員が参加しました。本セミナーは、大学リーグやまぐち、山口大学の共同主催、大学マネジメント研究会、大学行政管理学会中国・四国地区研究会の共催で実施されました。

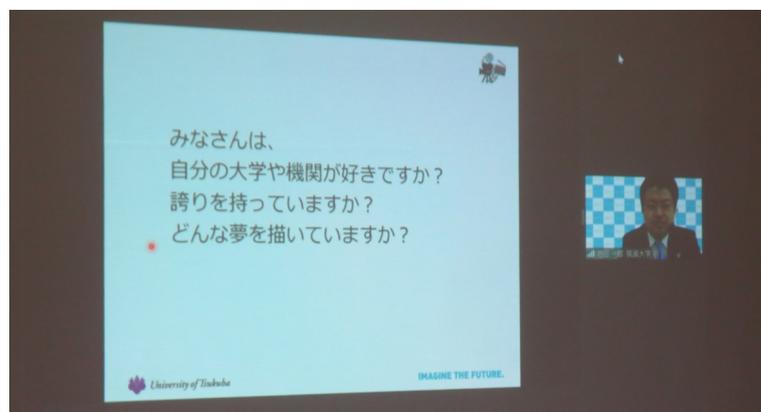
冒頭、多賀谷 勇治 山口大学 総務企画部長より開会挨拶があり、大学経営における教職協働の重要性が謳われる中で、所属大学を超えた大学関係者の議論や情報交流に期待が寄せられました。

基調講演では、まず、関西大学管財局管財課職員 / 日本ピア・サポート学会理事 松田 優一 氏より、「ピア・サポートを通じた学び合い・助け合い～学生支援と働き方について～」と題して講演がありました。ピア・サポートは教育活動であって、対人援助の知識と技術を学び、実践することで、援助する方も援助される方も人間力を高めることができ、ボランティアとは異なります。日本では、いじめが社会問題化した1990年代から学校現場を中心にピア・サポートが注目され始め、今日では大学生支援にも活用され、広がりを見せています。ピア・サポートによる「自立を促し、エンパワーを生む」コンセプトは、大学教職員の働き方における協働意識に適用でき、大学マネジメント力の向上に役立つことを意識させる講演となりました。

次に、筑波大学研究推進部外部資金課主幹 / URA 池田 一郎 氏より、「ファンドレイジング意識を持った提案力・行動力とは？」と題して講演がありました。ファンドレイジングの基本的な考え方を紹介しながら、大学も広義での"NPO"と捉えながら、学生を含めたステークホルダーのため、社会貢献のために、必要とされる資金を獲得し、新たなイノベーションを起こしていく意識や行動力の必要性を訴えました。筑波大学での具体的な取組事例を踏まえながら、聴く側にとって非常に説得力のある講演となりました。

最後に、大阪府立大学 副学長（統括） 高橋 哲也 氏より、「自律的な内部質保証を育むには～その仕組みづくりと意識づくりを学ぶ～」と題して講演がありました。内部質保証の定義を説明しながら、学修成果についての内部質保証の主体はカリキュラムや卒業要件を決める学科であると強調しました。その観点から、大阪府立大学では、ボトムアップでの議論を醸成する教育戦略室会議の設置や内部質保証のためのスタートアップ事業の導入を通して、学科が主体となった自律的な内部質保証体制の整備を進めている説明があり、各大学での関心テーマである自律的な内部質保証の確立にとって示唆に富む講演となりました。

後半では、林 透 教学マネジメント室 副室長の進行のもと、参加者からのチャットによる質問に講師が回答する形で全体共有を行いました。参加者アンケート結果から満足度の高いセミナーとなり、今後も同様のオンラインセミナーを望むコメントも寄せられ、更なる充実を図っていくこととしました。



共育ワークショップ2021

「今、改めて『学生参画』について考えてみよう！」を開催！

2021年3月26日（金）午後、共育ワークショップ2021「今、改めて『学生参画』について考えてみよう！」をオンライン開催し、学生スタッフによる司会進行で行われました。約50名の参加があり、全国から大学生、大学教職員のほか、高校教員など多様な方が参加されました。

山口大学では、教員・職員・学生が協働して教育学習を充実していくことを目標に、共育ワークショップを2013年度から実施しています。その成果の一つとして、2017年3月には、全国学生祭典『学生FDサミット2017春』を山口大学主催で行いました。近年、我が国でも、国際的動向の影響を受けながら、教育の内部質保証の観点から、学生が教育システムの構成員として参画する動きが広がりつつあり、今回、改めて「学生参画」について考える機会を設けさせていただきました。

当日は、我が国の大学教育において「学生参画」を推進してきた第一人者である富山大学 橋本 勝先生を講師にお招きし、富山大学1年生との対話型での基調講演のほか、本学の教学マネジメント室・学生スタッフ、共同獣医学部の学生代表経験者、さらには、宇都宮大学の学生発案型授業プロジェクトのリーダー学生による話題提供、さらには、フロアとの意見交換を通して、現状と課題を見つめながら、今後の学生参画を展望しました。



【概要】

日時：2021年3月26日（金）13:30～16:00

実施方法：オンライン聴講（Zoom）

対象：学生・大学教職員ほかどなたでも参加可能（参加無料）

主催：山口大学 教育・学生支援機構 教学マネジメント室

内容：

13:30～13:40 オープニング・趣旨説明

【基調講演】

13:40～14:20 「『学生参画』に賭けた夢、これからの期待」

富山大学 教育・学生支援機構 教育推進センター教授 橋本 勝

【学生からのメッセージ】

14:20～14:35 「コロナ禍でも頑張る学生～教学マネジメント室スタッフの取組～」

山口大学 理学部3年 山口 由貴

14:35～14:50 「山口大学 共同獣医学部における学生参画～国際認証の枠組～」

山口大学 共同獣医学部6年 仲村 岳真

14:50～15:05 「宇都宮大学における学生参画～『理想の授業』の取組～」

宇都宮大学 共同教育学部2年 大木 陽菜乃

（小休憩）

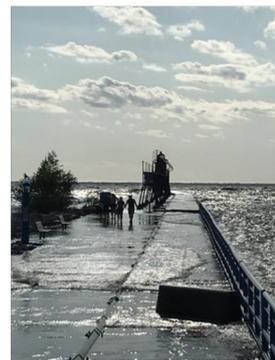
【パネルディスカッション】

15:10～15:55 「今、改めて『学生参画』について考えてみよう！」

（パネラー）上記登壇者4名および、富山大学 都市デザイン学部1年 益田 耕佑

（ファシリテーター）岡山大学 医学部6年 久保 卓也

15:55～16:00 クロージング・閉会挨拶



スチューデント・リーダー・プログラム (SLP) 「動画編集入門講座」を開催！

2020年12月17日（木）・22日（火）のお昼休み時間帯（12：00～12：40）を使い、教学マネジメント室の学生スタッフ3名による「動画編集入門講座」（第20・21回スチューデント・リーダー・プログラム（SLP））を開催しました。文系・理系学部を問わず、1年生を中心に、延べ61名の参加者がありました。

教学マネジメント室の学生スタッフでは、動画編集・作成チームを編成しており、そのチームメンバーである工学部4年 藤井聖也くん、経済学部3年 弘田侑大くん、経済学部1年 小林雄時くんが当日の講師を務め、動画のカットやテロップ入れ、エフェクト挿入などをサンプル動画などを使用しながら、分かりやすく説明しました。参加者にとって満足度の高い内容となりました。

今回の企画は、コロナ禍の中で動画コンテンツ編集作業が増える中で、学生スタッフが自ら企画し、資料作成を始め、当日の司会進行等も行いました。今後も、このようなニーズのある講座を学生に提供できるように取り組んでいきたいと思えます。

第20・21回スチューデント・リーダー・プログラム(SLP)
【ラーニングスキル開発】《山口大学生対象》

意外と簡単！ / 40分で学ぶ
動画編集入門講座

基礎の基礎から説明するので、超絶初心者さんおすすめ！

「動画サイトで見るような動画編集を自分でもしてみたい！」とは思いますが「なかなか一歩が踏み出せない。」そんなあなたの背中を押します！

<p>01 動画編集の基本的な作法を学ぶ</p> <p>カットや早送り、テロップ入れなど動画編集するときにかかせない基本的な技術を、順追って説明します。</p>	<p>02 実際に編集風景を見て学ぶ</p> <p>実際に編集ソフトを使い、編集する風景を見てもらい、動画編集の雰囲気をお伝えします。</p>	<p>03 編集された作品を見て学ぶ</p> <p>アイデアや編集の仕方などで様々な動画が作れることを、編集済みの動画を見て学びます。</p>
---	--	--

聴講方法 Zoomによるオンライン開催

日時 12/17(木)12:00～12:40 又は 12/22(火)12:00～12:40

定員 各回50名まで。

講師 教学マネジメント室 学生スタッフ 藤井(工4),弘田(経3),小林(経1)

申込方法 以下の申込フォームURLにアクセス後、必須事項を記入の上、送信してください。申し込み完了後、Zoomアドレス等の情報を別途、申し込み者のメールにご連絡いたします。**申込締切は12/15(火)。**



やまぐち探訪記【第十四回】

by 学生スタッフ

こんちゃ！山口大学OTLM学生スタッフ新メンバー・人文学部人文学科歴史学コースの二年の山下祥と言います。出身が山口の宇部ですので県民もあまり知らないような場所をご紹介しますと思います。今回は「せせらぎ豊鹿里パーク」です。一言で言えば「キャンプ場」。テントやキャンピングカーを持ち込んでがっつりキャンプするのもよし、宿泊施設があるのでそこをかりてバーベキューをしたり自然を満喫するのもよしです。近くにはきれいな川も流れていますのでそこに入るなんてことも。私が行った際は一泊二日で、一日目に川にはいたり、バーベキューをして、夜はお酒とともに楽しく過ごし、二日目帰る前に車で10分程度のところにある「石船温泉」に入りに行きました。石船温泉



は、一日おきで露天風呂が男湯・女湯と入れ替わるのでその日程をチェックされて行かれることをお勧めします。ちなみに私



は露天風呂に入れませんでした（泣）こちらは山口県東部の鹿野にございますのでお車でいられることをお勧めします。車で下道で小一時間かかるところですが、ドライブにもちょうどいいし（道によってはアトラクションのような山道もあるとのこと…）、普段のキャンパスライフ・普段山口市での生活では味わえないものを色々感じてもらえたらと思います。今は大人数で、というのは難しいですが、「キャンプをしたい」「思い出作りがしたい」と思った際にはぜひ、ここを訪れていただければ、と思います。

（人文学部2年 山下祥）

問題です！あなたは、新山口駅から防府方面に向かう電車に乗っています。防府の次の駅はどこでしょう？…正解は、そう、富海です！！今回はその富海について紹介させて頂こうと思います。遅ればせながら、担当させて頂く学生スタッフの赤尾侑果です。よろしくお祈いします！さて、皆さんは富海と聞いて何を思い浮かべますか？何も思いつかない～という人もいるかもしれません。実は、富海は江戸時代には交通の要所として栄えており山口県の流通の中心地でした。



現在でもその史跡を巡ることで明治維新の風を感じることができます。そんな富海の魅力は、豊かな自然と伝統工芸品として名高い藍染です。順にみていきましょう。まずは、キラキラと太陽の光を反射させる瀬戸内海。この景色は電車の車窓から見るすることができます。もちろん、夕焼けも綺麗ですが私のオススメは朝焼けです！清々しい朝日が海面に輝き「今日も1日頑張ろう！！」と思えます。続いてご紹介させて頂くのは、藍染です。藍染の1番の特徴はその色である“Japan Blue”です！まるで、富海の海のような深くあたたかなその発色は世界中から高い評価を得ています。私は高校生の時に藍染の第一人者である飴村先生の下で藍染体験をさせて頂いたことがあります。染色で用いられる絞りやろうけつ染めな



どの技法を用い、世界に一つだけのマイバッグを作りました。藍色は藍を発酵させて作るの、藍釜があるアトリエはその匂いで充満していました。藍染体験中に伺ったお話しでは、藍の栽培農家が減少してきており飴村先生は染色だけでなく藍の栽培にも注力しているとのことでした。私が体験させて頂いた工房の他にも藍染を体験できる工房があるので、是非調べてみてください！富海は綺麗な自然に囲まれ、古くから交通の要所として栄えてきた素敵な地域です。是非、1度訪れてみてくださいね。

（経済学部2年 赤尾侑果）



OTLM学生スタッフ 募集!

オン・キャンパスでジョブ
オフ・キャンパスでチャレンジ



教学マネジメント室 林 透
083-933-5067



林 透(担当教員)
toru-heyamaguchi-u.ac.jp



<http://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~otml/Index.html>

Our Works!

共育ワークショップ
山口大学の教育(共育)について
学生・教職員が一体となり共にはくむ場
年に一回開催!

共育の丘だより
教学マネジメント室での活動や
学生スタッフ活動の広報のため
年に二回発行!

**山口大学・大学教育再生加速プログラム
(YU-AP)推進事業**
2014年秋に採択された全学を挙げての事業
学生・教職員が協働して推進!

SLPの開発
Student Leader Program
リーダーシップ養成
学園相談会(ピア・サポート)
キャリア学習会(就業力支援)...

学生向けの
新・正課外教育プログラムを
教職員協働で開発!

学生FDサミット
全国を駆け回って大活躍中!!

オン・キャンパスでジョブ
動画撮影会、ニュースレター編集委員
学内企画イベントの補助委員
オフ・キャンパスでチャレンジ
オンラインによる他大生との交流会
山口市・長門市・周防大森などの体験学習

Contact!

教学マネジメント室
yuap@yamaguchi-u.ac.jp

編集班:

- 河野 真優 (人文学部2年)
- 山下 祥 (人文学部2年)
- 赤尾 侑果 (経済学部2年)
- 林 透 (教学マネジメント室 准教授)

学生メンバー:

- 原 きく乃 (人文学部4年)
- 川田 海榮 (経済学部4年)
- 杉本 寛晟 (経済学部4年)
- 大亀 洋輔 (理学部4年)
- 藤井 聖也 (工学部4年)
- 西谷 泉水 (農学部4年)
- 弘田 侑大 (経済学部3年)
- 山口 由貴 (理学部3年)
- 河野 真優 (人文学部2年)
- 山下 祥 (人文学部2年)
- 赤尾 侑果 (経済学部2年)
- 京面 裕也 (国際総合科学部1年)
- 小林 雄時 (経済学部1年)
- 松本 菜那 (経済学部1年)

発行:

教学マネジメント室
(2021年3月30日 発行)

編集後記

コロナ禍でありながら、オンラインによる企画イベントを積極的に開催し、多くの方々との交流ができました。オンラインということで、いろいろな大学から講師の方々を気軽にお呼びすることが可能となり、企画内容自体が従来よりも充実し、参加者数や満足度も上がったように思います。

コロナ禍で制限されることも多いですが、メリットも見出し、うまく活用していくことが大切です。学生スタッフの活動も、そのような状況をうまくキャッチして柔軟に適用し、積極的な活動に展開したように思います。このような活動の一端を感じていただけたら幸いです (YU-OTLM)。

大学教育は、大学教職員、学生、地域をつなげます